2021年
12
月号

京都市保育園保護者会連合協議会
市保連ニュース

発行　京都市保育園保護者会連合協議会
604-8854　京都府京都市中京区壬生仙念町 30-2
ラボール京都（京都労働者総合会館）5 階
TEL.075-801-8810 / FAX.075-822-6220
E-mail: info@shihoren.net / http://www.shihoren.net
京都都市保育園保護者会連合協議会

来年４月からの京都市の保育料値上げが見送られることに

子育て世帯の声を政策に反映してほしい

保育料値上げ見送り

2021 年 11 月 30 日の京都市会本会議で、門川市長は来年度の保育料値上げを見送る方針を明らかにしました。

来年４月の入所を申し込まれた子育て世帯の方々のなかには、保育料の値上げ額によっては入所を断念せざるを得ないと心配されていた方も多かっただけに、ひとまず生活の見通しが立ち、胸を撫で下ろされていることと思います。

市保連の調査から

しかしながら、市保連が 10 月に実施した保育料に関する調査では、現行の保育料額においても、保育料を捻出するために子育て世帯の家計に様々な負担が生じていることが明らかになりました（本号 2～3 頁に詳報）。

保育料は各世帯の家計に応じて負担するという原則があります。しかし、多くの世帯が家のローンや水光熱費などのライフライン、食費や医療費などの絶対的に必要な支出まで抑制せざるを得ないという経験をされていることを考えると、能力に応じた適度な支出とはいえない状況ではないでしょうか。

市保連の調査では、保育料によって、出生数や保護者の就労のあり方、居住地など、その影響が多岐に及ぶことも明らかになっています。

当事者の声はどこに

市保連ではこの調査結果を受けて、京都市会への陳情や京都市への要望書の提出などに取り組んできました。また、幾つかの保育園の保護者会や保護者の有志による陳情も行われており、今後、陳情書の提出を予定されているという保護者会もあります。

市保連をはじめとする保護者がこうした働きかけを起こしたのは、子育て世帯の声を京都市や市議会に届けたい、保育をめぐる政策の決定の過程に保護者の意見を反映させてほしいという思いからでした。

この間、京都市の行財政改革における保育料値上げをはじめとする議論は、主に財源の面からのみなされており、子育て世帯への影響などが根拠をもって示されることはありませんでした。京都市が募集したパブリックコメントにも、保育料に関する意見が多く届けられましたが、その結果がどのように政策に反映されたのかも明らかにされていません。市保連の調査でも、保育料値上げによる生活への影響が最も大きいと考えられる階層からの回答は限られていました。深刻な生活実態にある人たちに情報が届いておらず、その声を挙げることもできないのではないかと危惧しています。

保護者の声を反映させる仕組みを

かつて、障害者の権利条約が策定される過程で、“Nothing about us, Without us.（私たち抜きに、私たちのことを決めないで）”というスローガンが提唱されましたが、あらゆる政策の形成過程に当事者の参加が不可欠とされる現在、保育料のみならず、保育や子育てをめぐる政策の決定プロセスに子育て世帯の声を十分に反映させる仕組みを確保することが求められています。

今回は、ひとまず来年度４月からの保育料値上げは見送られました。市保連では今後も、保護者の知恵を集め、子どもを安心して育てられる京都市をめざして、広く議論を呼びかけていきたいと思います。

京都市保育園保護者会連合協議会
会長　田中　智子

京都市保育園保護者会連合協議会

京都市の子育て世帯における保育料・保育内容に関する意識調査

ダイジェスト版

調査の概要

【対象者】京都市内に在住する就学前の子どもを養育する保護者

【期間】2021 年 10 月 1 日～10 月 31 日　**【方法】**web によるアンケート調査　**【有効回答数】**165 ケース

《子どもの年齢》〔複数回答〕

3 歳以上 66%（109 人）、3 歳未満 52%（85 人）、小学生以上 34%（56 人）、未就園児 13%（22 人）

《在籍している保育施設》

公立保育園 29%（47 人）、民間の認可保育園 65%（106 人）、認定こども園 2%（4 人）、小規模保育事業 2%（3 人）、企業主導型保育事業・私立保育園・公立保育所・認可外保育施設 各 2%（各 1 人）

《回答者の続柄》

母親 88%（146 人）、父親 12%（19 人）

《回答者の保育料階層》

第 1～第 6 階層（推定世帯年収 330 万円未満）16%、第 7～第 16 階層（同 640 万円未満）33%、第 17～22 階層 50%

現行の保育料には 83%の人が負担を感じており、1 万円上がると「次子を産むのを諦める」「京都市以外に転出する」と考える保護者が約半数

① 保育料について、京都市は「国基準保育料を基本に改定を行います。」としており、今後市独自の減免を廃止された場合、最大で国基準まで値上がりすることが予想されます。二人同時入所の際の「はぐくみ額」の見直しも想定されているため、多くの階層で 1 万円前後、最も値上がり幅が大きい階層では約 4 万円の値上がりになります。

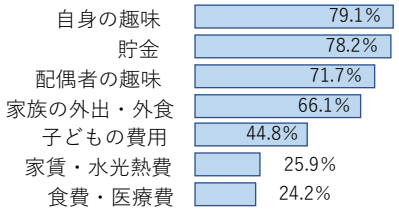
現行の保育料でも全ての階層が負担を感じており、「とても負担」「まあまあ負担」を合わせると 83%にのぼります。また、現行の保育料への負担感が強いほど、国基準まで値上がりした場合に負担できるか不安を感じる傾向が明らかになりました。

②2021 年度京都市の保育料と国基準の保育料

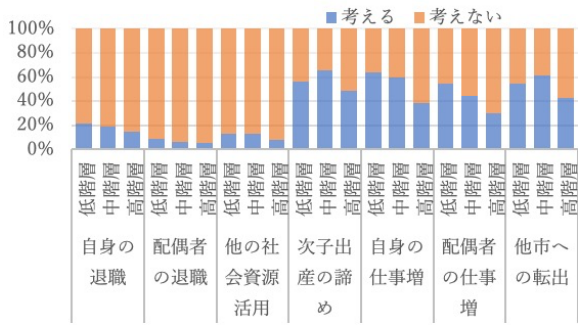
	国基準				京都市				値上げ額		
階層区分	一人目	二人目	合計		階層区分	一人目	二人目（はぐくみ額）	合計	一人目	二人目	合計
①生活保護世帯	0	0	0	1	生活保護世帯	0	0	0	0	0	0
②世帯年収260万円（市町村民税非課税世帯）	9,000	0	9,000	2	市民税非課税世帯	0	0	0	9,000	0	9,000
市民税均等割のみ課税世帯）				3	市民税均等割のみ課税世帯	4,600	1,700	6,300			
③世帯年収330万円所得割課税額48,600円未満）	19,500	9,750	29,250	4	市民税所得割課税額34,999円以下	7,500	3,000	10,500	12,000	6,750	18,750
				5	35,000～41,999円以下	8,300	3,000	11,300	11,200	6,750	17,950
				6	42,000～48,599円以下	8,800	3,000	11,800	10,700	6,750	17,450
④世帯年収470万円同48,600～97,000円未満）	30,000	15,000	45,000	7	48,600～58,099円以下	15,600	6,100	21,700	14,400	8,900	23,300
				8	58,100～67,599円以下	20,000	7,100	27,100	10,000	7,900	17,900
				9	67,600～77,100円以下	24,700	8,900	33,600	5,300	6,100	11,400
				10	77,101～86,999円以下	25,800	8,900	34,700	4,200	6,100	10,300
				11	87,000～96,999円以下	27,000	8,900	35,900	3,000	6,100	9,100
⑤世帯年収640万円同97,000～169,000円未満）	44,500	22,250	66,750	12	97,000～102,599円以下	28,200	8,900	37,100	16,300	13,350	29,650
				13	102,600～110,899円以下	35,400	11,600	47,000	9,100	10,650	19,750
				14	110,900～124,999円以下	36,600	11,600	48,200	7,900	10,650	18,550
				15	125,000～138,599円以下	37,600	11,600	49,200	6,900	10,650	17,550
				16	138,600～168,999円以下	44,500	14,400	58,900	0	7,850	7,850
⑥世帯年収930万円同169,000～301,000円未満）	61,000	30,500	91,500	17	169,000～174,599円以下	51,300	14,400	65,700	9,700	16,100	25,800
				18	174,600～211,200円以下	58,600	20,400	79,000	2,400	10,100	12,500
				19	211,201～300,999円以下	60,700	20,400	81,100	300	10,100	10,400
⑦世帯年収1,130万円同301,000～397,000円未満）	80,000	40,000	120,000	20	301,000～357,999円以下	69,900	21,400	91,300	10,100	18,600	28,700
				21	358,000～396,999円以下	76,300	21,600	97,900	3,700	18,400	22,100
⑧年収1,130万円以上（同397,000円以上）	104,000	52,000	156,000	22	397,000円以上	91,000	27,100	118,100	13,000	24,900	37,900

② 保育料を捻出するために、生活の様々な場面に影響が出ています。4 分の 1 の世帯が食費・医療費など生活に不可欠な費用や、家賃・水光熱費などのライフラインに関わる費用を支出できない経験をもっており、約半数が子どもの費用が支出できなかった、約 7 割が家族の外出に関わる費用や親の趣味・被服費などが支出できなかった、約 8 割が貯金や回答者自身の趣味・被服費などが支出できなかったと回答しています。低保育料階層ほどその割合が高いことから、ライフラインに関わるような深刻な影響も心配されます。

② 保育料支出のために支払いができなかった経験



③保育料が１万円上がったときの対応



③ 保育料が１万円上がったらどうしますか？という質問に対しては、「次子の出産を諦める」が54%、「京都市より保育料の安い自治体への転出を考える」が48%となっており、保育料が子育て世帯において経済的負担となっていることがわかります。京都市の少子化に一層の拍車がかかることは避けられません。

また低・中保育料階層では、自身もしくは配偶者の仕事を増やすと回答した人が半数を超えており、就労の長時間化、ひいては子どもの保育の長時間化が懸念されます。子育て世帯のワークライフバランスが崩れると、保育職員の労働環境の悪化にも影響します。また、低所得層では、自身もしくは配偶者の退職、すなわち保育施設の利用を断念すると回答した人も２割程度おり、より一層の経済的困窮や子育て世帯の孤立化が危惧されます。

保護者は、適切な規模で、長く勤める保育士としっかりとコミュニケーションが取れる保育環境を望んでいます

④ 保護者は、保育施設を単なる預かり場所とは考えておらず、子どもたちの育ちの場であり、給食も含む生活の場としての役割を重視しています。それに加え、保護者同士が繋がれて、子育ての相談ができる場所としても大事だと考えています。

⑤ 現在の保育環境については、保育園の定員が多くなるほど「子どもの人数に対する保育士数」「保護者とのコミュニケーション」「空間的ゆとり」などの項目において十分ではないと考える保護者が多くっています。保護者が望むのは、保育士が長年勤務でき、全保育士が全園児の顔と名前を把握できるような規模の施設であり、子どもの主体性を尊重する保育内容です。

⑥ 子どもの年齢と保育環境への不安の関係では、乳児（３歳未満）に比べ幼児（３歳以上）の方が「子どもの人数に対する保育士数」「クラス規模」「空間的ゆとり」について不十分と考える回答が多くなっています。京都市では、今後、保育士の独自加配の見直しも提案されていますが、現行の保育士数でも過半数の保護者が不十分と考えており、これ以上、保育職員が減った場合、保育施設を安心して利用できなくなることが危惧されます。

また、多くの保育園において定員以上の子どもを受け入れている現状で、現在の保育環境は適切な人員や空間ではないと考えていることがわかりました。子どもたちの育ちの場にふさわしい、人員規模や空間的ゆとりが保障されることが必要です。

④保護者が望む保育環境・内容

		とてもそう思う	まあまあそう思う	あまり思わない	全く思わない
保育環境	子どもの人数に保育士が十分である	18.2	20.1	37.7	23.9
	多様なニーズに対応している	8.2	13.3	51.3	27.2
	保護者とのコミュニケーションは十分である	22.0	49.7	24.5	3.8
	定員規模は適当	32.1	47.8	18.2	1.9
	クラスの人数は適当	26.0	47.3	21.2	5.5
	空間的ゆとりが十分	18.9	41.5	33.3	6.3
保育内容	保育士が長年勤務	69.0	26.6	3.8	0.6
	全保育士が全園児の顔と名前を把握	59.7	32.1	6.3	1.9
	小学校との接続スムーズ	13.2	46.5	34.6	5.7
	子どもの主体性を尊重	65.2	34.2		0.6
	全保育施設で職員 設備を同基準	62.2	30.1	5.8	1.9
	習い事の追加的実費徴収は負担である	34.6	37.7	16.4	11.3
社会的意義	適切な保育施設を選ぶ自信あり	17.0	51.6	28.9	2.5
	全ての子育て家庭に保育施設は有用	73.0	21.3	4.4	1.3
	地域住民にとっても有用	65.4	24.5	8.8	1.3
	費用負担は社会で	44.7	37.1	16.4	1.9
	地域に公立保育園を	56.0	27.7	13.2	3.1

⑤保育園の定員 × 保育環境への不安

	保育士が十分		多様なニーズへの対応		保護者とのコミュニケーション		定員規模		クラス規模		空間的ゆとり	
	まったく	あまり	まったく	あまり	まったく	あまり	まったく	あまり	まったく	あまり	まったく	あまり
50人未満	11.1	33.3	33.3	55.6	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	33.3
50～100人	27.1	41.7	27.1	50.0	4.2	18.8	4.2	16.7	6.7	15.6	6.3	31.3
100～150人	21.7	34.9	27.7	49.4	4.8	25.3	1.2	18.1	5.3	24.0	7.2	31.3
150人以上	31.3	37.5	25.0	56.3	0.0	37.5	0.0	25.0	0.0	26.7	0.0	50.0

⑥子どもの年齢 × 保育環境への不安

	保育士が十分		多様なニーズへの対応		保護者とのコミュニケーション		定員規模		クラス規模		空間的ゆとり	
	まったく	あまり	まったく	あまり	まったく	あまり	まったく	あまり	まったく	あまり	まったく	あまり
3歳未満	18.5	38.3	27.5	50.0	3.7	22.2	1.2	18.5	5.3	18.4	3.7	29.6
3歳以上	26.4	37.7	29.2	53.8	3.8	25.5	2.8	16.0	8.2	24.5	8.5	37.7

子どもたちにどのような社会を残すのか ―今こそ大人の知恵を出し合いましょう

今回の調査のなかでも「本当に今、保育料を値上げしても良いのか？」「子どもに財政難の皺寄せを生じさせて良いのか？」という意見が多くありました。また、保育料の値上げ、保育環境の悪化によって、実際に多くの子育て世帯が次子を産むことを諦めたり、京都市外への転出を考えたりしており、京都市から子どもが減っていくことも危惧されます。

このような状況の中で、「子どもが大切にされていない」「子どもを産むことが歓迎されていない」という声が多く寄せられています。本当に「子どもを大切にする社会」とはどのようなものなのか、子どもたちにどのような社会を残すのか、今こそ多くの大人たちの知恵を出し合い、真剣に考える必要があります。

市保連
オンライン
講演会企画

考えてみませんか？
“子どもが大事にされる社会”のこと

いま、国も地方自治体も、さまざまな子育て・保育施策を打ち出しています。それでも、保育園を利用しながら子育てをしている保護者の多くが、待機児童問題や高い保育料、忙しそうに動き回る保育士さんたちを前に、子育てと仕事の両立の難しさを実感し、時に「社会のなかで子どもが大切にされていない」という思いを強くしているのではないでしょうか。

今回の企画では、子育てや保育、介護や看護など、「ケア」を大切にする社会のあり方を模索してこられた岡野八代さんを講師にお迎えし、本当の意味で“子どもが大事にされる社会”とはどういうことなのか、私たちは何をしなければならないのか、私たちの日常に照らしながら、一緒に考えていきたいと思います。



日時：2022年2月6日(日) 14:00～16:00

講師：岡野 八代さん
（同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教員）

▶プログラム：
- 岡野八代さん講演
- 京都市の保育をめぐる現状と課題についての報告
- ディスカッション

▶オンライン(Zoom)開催

▶事前申し込み不要

視聴方法

・事前申し込みは不要です。当日、下記のIDをZoomに入力してください。

ID：862 0695 1355

・右のQRコードからもアクセスできます。

2021年度第4回保護者会活動交流会のお知らせ

下記の通り、2021年度第4回市保連保護者会活動交流会を開催します。

日時：2022年2月10日（木）19時から21時
実施方法：オンライン開催（Zoom使用）

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン（Zoomを使用）にて開催します。
- 参加をご希望の方は、2月7日（月）までに市保連事務局へメール（info@shihoren.net）にてご連絡下さい。折り返し、事務局よりZoomミーティングID・レジュメなどをお送りします。
- なお、感染状況の改善等により開催方法を変更する場合があります。その際は、市保連HPにご案内を掲載するとともに、参加をお申し込みいただいている皆さんに事務局よりご連絡を差し上げます。
- 各園の保護者会役員が抱える悩みを相談し合い、他の保育園の状況についても知り、交流する機会ともなります。未加盟の保護者会、保護者個人でのオブザーバー参加も歓迎します。

お仕事と子育てで大変お忙しい日々と思いますが、皆さまぜひご参加ください！

★市保連メーリングリストご登録のお願い★

京都市保育園保護者会連合協議会（市保連）では保護者・保護者会相互の交流や情報交換のため、メーリングリストを設けています。この機会にぜひご登録ください。

登録をご希望の方は、保育園名・お名前と、「メーリングリスト登録希望」と記入したメールを、info@shihoren.net（市保連事務局）宛にお送りください。

『市保連ニュース』のバックナンバーは、市保連ホームページで公開中です！